

MDA電子シャワー「虫Uターン」による防虫原理

MDA電子シャワー「虫Uターン」は、①虫を寄せつけない②虫を追い出す
③虫の侵入を防ぐ④虫の繁殖を防ぐ——等の優れた効果があります。

生物の本能的な忌避作用とMDA電子シャワー「虫Uターン」

虫や昆虫類は行動変化の中で、本能的に環境の微変化に反応して活動しています。生活行動域に異常な変化が起こると、虫や昆虫は別の場所に生活域を変更することでその影響から逃れようとします。些細な影響であっても警戒して、その環境や生活域を逃れる本能を持っているのです。MDA電子シャワー「虫Uターン」は、室内空間に交流の微弱な電界によるマイナスイオンを発生させ、虫や昆虫に忌避性を与えて誘集や飛来を抑制するものです。

MDA電子シャワーから発生するマイナスイオンは、人間にとっては有益、無害、無感覚ですが、虫や昆虫にとっては殆ど測定不能の微弱なマイナスイオンでも察知して行動変化を起こします。こうした環境変化は虫や昆虫の周辺では、常々起きているわけで、そんな微変化にも、虫や昆虫たちは精密に応答し、本能的な忌避行動によって生活域を変えながら行動しているのです。虫や昆虫類のそうした本能的な行動変化に着目し、マイナスイオンによる昆虫の飛来抑制や虫の内部発生抑制など防虫対策に応用したのがMDA電子シャワー「虫Uターン」です。

化学薬剤を使わずに防虫対策ができる!!

MDA電子シャワー「Uターン」の防虫原理は、マイナスイオンを発生させるMDA電子発生制御盤と電気磁気的環境の整備システム即ち電子シャワー装置MX-9と炭素埋設大地の調整とからなっています。MDA電子シャワー装置と、炭素埋設大地からなるその環境設備システムの役割は、大気（天井）と大地（土間）の間にMDA電子による高電位と微弱電流を印加することで、5~14ミクロンの運動電子（周波）が発生します。この周波が昆虫や虫等の触感・触手に異常警戒感・忌避感を与え、別の環境へと生活域を移動させます。

MDA電子シャワー「虫Uターン」による昆虫・害虫類への忌避作用の原理

